

平成17年12月14日

関係大学長・関係機関長 殿

筑波大学大学院生命環境科学研究科
遺伝子実験センター長 藤村 達人

教員公募について(依頼)

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、筑波大学大学院生命環境科学研究科遺伝子実験センターでは、下記の要領により教員を公募いたします。ご多用中まことに恐縮に存じますが、貴学・貴機関関係各位への周知方並びに適任者のご推薦について、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- 1 募集人員 : 助教授 1名
- 2 所属 : 遺伝子実験センター
- 3 専門分野 : 遺伝子組換え基礎技術開発研究分野(植物)
今回募集する教員は、遺伝子実験センターに設置されている遺伝子組換え基礎技術開発研究分野の助教授で、以下の業務・研究を担当してくれる方です。
 - (1) 遺伝子実験センターの主要な業務であるトレーニングコース(下に説明)の企画・立案・実施
植物に関するトレーニングコースを担当してくれる方。
 - (2) 学内外共同利用のために必要な業務
学内外共同利用者の指導・助言、共通機器の維持・管理、センターの運営、学内外との共同研究等に責任を持ってあたってくれる方。
 - (3) 高等植物を主たる対象とし、関連する遺伝子組換え技術の開発や植物分子生物学に関する独自の研究に取り組んでくれる方。なお、遺伝子実験センターには、遺伝子組換え植物育成用の特定網室および隔離圃場等も整備されており、これらの設備についても積極的に活用してくれる方。
 - (4) 教育については、筑波大学大学院生命環境科学研究科のいずれかの専攻に所属し、大学院生の教育・研究指導も担当してくれる方。
- 4 応募資格 : 博士の学位を有する方
なお、今回募集しているポストについては、任期制は適用されませんが、着任後5年毎に研究・業務に関する評価を実施いたします。
- 5 採用予定年月日 : 平成17年度、決定後できるだけ早い時期
- 6 必要提出書類
 - (1) 履歴書(写真貼付)
 - (2) 研究業績リスト(査読付き論文(英文、和文)、総説(英文、和文)、著書(英文、和文)、その他の著述(英文、和文)、受賞、外部資金導入実績(代表および分担)(題目、金額等を明記)、特許、品種育成、等に分類して記載してください。)
 - (3) 主要論文の別刷またはコピー(各1部)(最近5年以内の論文、著書等の印刷物はすべて提出してください。)
 - (4) 教育実績および社会貢献活動等の目録(経験のある場合のみ記載)
 - (5) 現在までの研究の概要(2000字以内)
 - (6) 今後の研究ならびに教育(特に、分子生物学技術の開発・活用・普及や遺伝子教育等を含めて)に関する抱負(2000字以内)
 - (7) 所見を求めうる方2名の氏名、所属、連絡先
- 8 応募締め切り日 平成18年1月20日(必着)
- 9 応募書類提出先
〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学遺伝子実験センター
助教授公募選考委員会委員長宛
(封筒に「公募応募書類在中」と朱書し、簡易書留郵便で送付してください。)
- 10 問い合わせ先
筑波大学遺伝子実験センター 鎌田 博
電話 029-853-4674
FAX 029-853-4674 or 029-853-7723
e-mail hkamada@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

トレーニングコースとは

筑波大学遺伝子実験センターが開催しているトレーニングコースとは、毎年秋に1週間の日程で実施している遺伝子組換え基礎技術研修会のことです。公募によって選ばれた15名程度の受講者に対して、月曜日朝から土曜日お昼までの1週間（毎日、朝9時から夜10時近くまで）に渡り、遺伝子組換え実験技術（植物を主たる対象とする基礎技術および先端技術）について、実技を通してきめ細かい指導を行うコースです。このコースを実施するためには、春から企画を始め、夏頃までに実施要領や募集要領を決定しつつ、実施時に使う受講生用のマニュアルを作製し、コース実施の1ヶ月前ぐらいからマニュアルにしたがった予備実験を実施します。今回公募されているポストに着任される方には、このようなトレーニングコースの企画・立案・実行の全てを担当していただきます。

学内外共同利用について

筑波大学遺伝子実験センターでは大規模な学内共同利用を実施しており、現在、約200名近い学内研究者（教官・大学院生・学部生等）が常駐しております。また、遺伝子組換え実験に関する多種多様な機器を共同利用のために整備してあります。さらに、学外との共同研究も積極的に推進しております。今回公募されているポストに着任される方には、このような学内外共同利用者への指導・助言や共通機器の維持・管理等の業務を分担していただくとともに、学外共同研究についても積極的に推進していただきます。